

丹沢： 沖ノ源次郎沢

- ◆日程 2018年12月16日(日)
- ◆メンバー L：佐藤、岡村、小山田、前田、大山、林
- ◆天候 曇り時々雨

11月に大倉 20m に登りに行った沖ノ源次郎沢を源頭まで詰めてみる事にしました。渋沢駅に 8:00 集合、この時点で気温 7 度の真冬の寒さでした、今回初めて参加する林さんを含め 6 名で大倉から歩きます、戸沢の出合まで 1 時間半で到着、書策新道は最初は歩き易いですが本谷沢との交差する直前に崩落箇所があり強引なトラバースを強いられる所がありました。

本谷沢を渡り古い標識のところで書策新道を外れ、20メートルほど進むと沖ノ源次郎沢の大倉 20m+20m が姿を現します。登はん準備をしていると、空からぽつぽつと雨が降ってきました、気付かないうちに天候が悪くなっていて、指先が冷たくなり難しい登はんとなってしまいました、それでも全員問題なく登ることができました、3 段目 6m を超えるとすぐに 2 叉にルートが分かれ、左の潤れ沢は大きく斜度のあるガレが続いており、地図で確認してこの左を進みましたが、しばらく行くと斜度がきつくなり登はん不可能に、ここでルート確認のため GPS を見たところ、先の 2 叉で道を外れてしまった様でした、ここから右に大きくトラバース、尾根を越え沢を超えて大汗をかいてルート復帰、詰めも沢を進まずルート右の尾根に乗り登山道に出ました。

(初山行 林さんコメント)

これまで山岳会に入会するのはいつも晩秋から冬にかけての時期。たまたま 8 月から 10 月の間に転勤し、会探しや片付け・準備等で 2 か月ぐらい掛かるからなのか？今回、例会見学、忘年会という流れの中で、丹沢の沖ノ源次郎沢に参加させていただくことになった。12 月中旬といえば立派な冬。潤れ沢の滝を登るということだが、服装や装備は迷った。ウ



ェアやガチャ類は沢用と雪山用で使い分けているが、今回は雪山用ウェアと沢用ガチャのミックスにした。クライミングシューズも何年ぶりだろうか？電車での集合も 10 年ぶり以上か？こんな寒い冬の日々に電車内や駅で多くの登山者を見かけるのに驚いた。名古屋も東北も車社会なので、山に着くまで他の登山者を見かけることはあまりない。山に入るのは 9 月の燧ヶ岳以来だから 3 か月ぶりだ。林道、登山道、沢を経由して沖ノ源次郎沢 F1 に着き、クライミングシューズに履き替えたところで小雨がパラつき始め、慌てて雨具を着込む。ホールドが冷たく濡れているため次第に手指の感覚が無くなり、掛かっているかどうか自信が持てない。続く F2 は上部屈曲部のスタンスに乗り込むところでつま先が滑りそうで時間が掛かってしまう。大倉尾根まで続く二俣で右か左かを迷った結果は報告文記載の通り(?)。下山して出発直前のバスに飛び乗った。駅前の居酒屋で打ち上げ。ビールが旨い！電車集合最高！

CT：大倉バス停 8:25 - 戸沢出合 9:40 - 書策新道分岐 10:30 - 20m 棚 2 段目下
12:50 - 大倉尾根登山道 15:50 - 大倉バス停 17:40